

時代とともに変化する社会環境とニーズの多様化に対応し、常に新たな価値を生み出してきました。

ノリタケグループは創立以来、独自の技術を様々なに応用・発展させ、現在は事業領域を4つの分野で展開しています。これからも私たちは、時代とともに変化する新たなニーズに応え、人々のより豊かな暮らしや社会に資する新たな価値を創造してまいります。

ノリタケの製品・技術

1919 水金の国産化成功



1919 焼石膏の製造開始



1926 磁器製造用転写紙の国産化成功



1939 工業用研削砥石の本格的製造開始



1959 超重研削用「ZZZ砥石」開発



1964 研磨布紙の技術導入



1967 厚膜回路の印刷技術開発



1971 世界初のビトリファイド CBNホイール開発



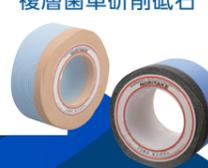
1972 ダイヤモンド 工具の製造開始



1990 セラミック砥粒砥石「CX砥石」開発



2022 複層歯車研削砥石



工業機材事業

ものづくりに必要不可欠な材料を「削る・磨く・切る」という工程を世界トップクラスの技術により支える、国内最大の研削・研磨工具の総合メーカーです。グループには汎用砥石、研磨布紙を扱う日本レヂボンも属しており、幅広い製品ラインナップで自動車・鉄鋼・ベアリング・航空機・造船・医療・半導体など様々な産業の発展に貢献しています。

1914 日本初のディナーセット完成



1932 日本初のボーンチャイナ開発



1955 加熱式自動ロクロ成形機の開発



1965 耐熱強化磁器「プログレッションチャイナ」の開発



1970 不水溶性濾過装置「A-0フィルター」を発売



1973 スタティックミキサー(静止型混合器)の技術導入



1974 業務用強化磁器「プリマデュロ」の開発



1975 ローラーハースキルン(RHK)を発売



1974 セラミックコアの技術導入



1984 積層セラミックコンデンサ用電極ペーストを発売



1977 ニクソン・ショック

1973 第一次石油危機

1985 プラザ合意

1975 シンカットマスター(超硬丸鋸切断機)の開発



1988 PDP用大型パネル焼成炉を発売

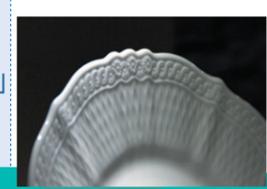


1990 パブル景気

1991 ソビエト連邦の解体

1991 失われた10年(平成不況)

2012 新磁器素材「プレミアムホワイト」の開発



2001 アメリカ同時多発テロ

2008 リーマン・ショック

2011 東日本大震災

セラミック・マテリアル事業

原材料を砕く、混ぜる、成形する、印刷するといった技術が、幅広い分野で活躍する優れた材料や部品などを生み出しています。それらが積層セラミックコンデンサなどの電子部品をはじめ、自動車や医療機器、航空機など、様々な産業を支えています。

1914 日露戦争

1914 第一次世界大戦

1920 戦後恐慌

1929 世界恐慌

1931 満州事変(日中戦争始まる)

1939 第二次世界大戦

1950 朝鮮戦争

1951 サンフランシスコ平和条約

1955 高度経済成長

1970 1990-2000-

エンジニアリング事業

加熱、混合、濾過、切断の技術を核としたエンジニアリング装置を、自動車、電子部品、化学、医療、食品などの様々な産業向けに提案し、ものづくりの現場の効率化、省エネに貢献しています。お客様のご要望に合わせた乾燥炉や焼成炉、混合攪拌装置、濾過装置、鋼材切断機、ロードカッターなどの開発、設計を行っています。

食器事業

ノリタケの食器は120年近く、世界中で愛されてきました。ご家庭での普段使いやギフトのほか、ホテル、レストラン、機内食などの業務用として、美しく使いやすい食器を取り揃えています。これからも最高の品質と品格を備えた商品を提供することで、みなさまに心豊かな暮らしを提案していきます。

ノリタケの歩み



1904年
日本陶器合名会社創立



1933~1939年
建物および設備の近代化



1947年
米国に販社設立



1957年
社是の制定



1972年
スリランカに食器工場設立



2001年
ノリタケの森を開発



2004年 創立100周年
(写真は周年記念品 四季彩舞曲)



2012年
タイで超砥粒研削工具工場操業開始



2013年
中国蘇州で砥石工場操業開始